令和３年度

事　業　報　告　書

～ つなぐハート　つなげる明日　魚津市社協 ～

社会福祉法人　魚津市社会福祉協議会

令和３年度　社会福祉法人魚津市社会福祉協議会　事業報告

はじめに

人口減少、少子高齢化に加え、認知症高齢者や一人暮らし高齢者世帯の増加、コロナ禍による生活課題の顕在化など個人や世帯が抱える生きづらさが複雑化・多様化してきています。このような中、制度や分野ごとの縦割りを見直し、個人や世帯が抱える課題を包括的に対応する体制づくりや、従来からの担い手、支え手という関係性のみではなく、地域住民や様々な団体・企業等が参画し、それぞれの強みを活かしてつながることで共に地域づくりを進めていく「地域共生社会」の実現が求められています。

魚津市社会福祉協議会では、令和３年度も「みんなが安心して、暮らし続けることができる、地域づくりのために～地域共生社会の構築を目指して～」を基本理念に、住民、行政、関係団体と連携・協働し、さらなる地域福祉の充実に努めました。そして中長期的に魚津市における地域福祉を推進する責任ある団体としての使命をはたすことのできる支援体制の強化、持続可能な組織づくり、財政基盤の安定化に向け取り組みました。

経営重点目標

（１）安定した法人経営と地域から信頼される組織づくり
（２）地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり
（３）地域住民が自立した生活を送ることができるための権利擁護体制の構築
（４）地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるサービスの実施
（５）地域福祉の拠点施設としての機能の拡充

新規・拡充事業

【新規】
○介護職員初任者研修の実施（総務課）
○第２期中期経営計画・第５次地域福祉活動計画の策定（事務局：総務課・地域福祉課）
○成年後見制度利用促進体制の整備（地域福祉課）　○共生社会づくり推進事業（地域福祉課）
○つばめ児童センター日曜開館事業（児童センター）　○利用料金制度による事業運営（つくし学園）

【拡充】
○地域住民グループ活動支援事業　○高齢者通所型介護予防事業・さんさん介護予防倶楽部じゃ～んとこい（地域福祉課）

経営改善への取り組み

○介護報酬、障害福祉サービス報酬による加算等の適正な請求管理による収入確保
○所長等会議での月次経理執行状況報告を活用した法人内連携の強化

1　地域福祉拠点　（収入済額：162,010,377円　支出済額：155,196,422円）

1　法人運営事業サービス区分（収入済額：95,313,560円　支出済額：95,313,560円）

⑴　法人運営事業	予算額　12,567,000円	収入済額　11,167,059円	支出済額　11,167,059円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
法人組織力の機能強化と職員の専門性を活かす人材育成に努めます。 〇部署間連携を強化し職員の資質向上を図ります 〇計画的に人材確保（職員採用）を行うとともに、職員が働く意欲を高めることのできる体制整備を行います。 〇法令順守を徹底し地域住民から信頼される法人経営に努めます。 〇法人の経営状況、財務状況の正確な把握に努めます。	通年	・職員の資質向上のため各種研修会に積極的に参加しました。コロナ禍のためオンラインでの開催が増えたことで、複数の職員が同時に参加できました。 ・月１回衛生委員会を開催し、職員が各部署で専門性を発揮できる職場環境の整備を図りました。 ・令和４年４月の新規職員採用試験を実施し、３名を採用しました。職種別による募集を改め「福祉の総合職」を見据えた人材確保を行いました。また、資格取得に係る法人助成の見直しを行いました。 ・法律等の改正に合わせ就業規則並びに諸規程の一部改正案を理事会に諮り、職員へ周知しました。 ・日々の経営から見える財務状況に関し、月１回の会計調査時の指導を踏まえ、正確な処理に努めました。	・富山県福祉カレッジ主催の各種研修会への参加 ・東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会（11月） ・職員採用試験実施状況 （１次 8/21　２次 9/18） ・介護職員初任者研修 （10/3～1/30 の日曜日） ・再雇用職員就業規則、職場ハラスメント防止規程、虐待防止規程の制定、並びに職員就業規則、給与規程の一部改正案の提出

⑵ 社会福祉振興基金運営事業	予算額　10,000,000円	収入済額　10,000,000円	支出済額　10,000,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
本会が行う社会福祉の振興と地域福祉の増進を図ることを目的として設置しています。		・善意銀行事業に対して大口の寄附があり、そのうち10,000,000円を社会福祉振興基金へ積立てました。	社会福祉振興基金残高 191,448,668円（３月末）

⑶地域包括支援センター介護予防支援事業	予算額　31,716,000円	収入済額　30,704,355円	支出済額　30,704,355円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
指定介護予防支援事業（要支援１・２のケアプラン作成と給付管理）、介護予防・生活支援サービス事業対象者に対する予防プラン作成等を行う職員を包括支援センターに派遣します。	通年 職員６名派遣 （常勤職員５名・契約職員１名）	・職員６名（正職員５名・契約職員１名）を市地域包括支援センターに派遣しました。要介護状態への移行を予防するための介護予防マネジメントや介護予防・生活支援サービス事業対象者に対する予防プラン作成を行いました。	・派遣職員の有資格 介護支援専門員　５名 社会福祉士　　　１名

⑷ 介護認定調査受託事業	予算額　6,418,000円	収入済額　6,121,336円	支出済額　6,121,336円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
本会職員が市社会福祉課に出向し、要介護認定申請者の自宅等に訪問し、心身等の状況を確認し、調査票のまとめを行います。	通年 契約職員２名派遣	・契約職員２名を市社会福祉課介護保険係に派遣し、要介護認定申請者宅の訪問など、介護認定調査業務に従事しました。	・派遣職員の有資格 社会福祉主事　１名 介護福祉士　　１名

⑸ 退職共済積立事業	予算額　37,112,000円	収入済額　37,102,330円	支出済額　37,102,330円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
全国社会福祉協議会が運営する退職手当積立基金制度に加入しており、将来の退職手当給付に充てるための資産確保に努めます。	通年	・正職員47名の掛金納付や退職年金受給者１名分の支給手続きを行うとともに、全国社会福祉協議会からの積立基金加入状況や資産運用状況等を注視しました。	・掛金累計額（３月末） 170,058,930円 ・退職金要支給額（３月末） 181,113,210円

⑹ 中期経営計画推進事業	予算額　235,000円	収入済額　0円	支出済額　0円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
中期経営計画の進捗、取組み状況の成果、評価・分析を踏まえ、第２期中期経営計画（令和４年度～令和８年度）の策定に取り組みます。	第２期中期経営計画策定委員会の開催	・現計画の最終年度であり、これまでの取組みを振り返り、見えてきた経営課題や新たな経営課題にどう対応すべきかを内部協議は行いましたが、第２期経営計画策定までは至りませんでした。	・児童発達支援センター整備に向けた市との協議、理事会での説明等

⑺ 社協組織力強化事業	予算額　373,000円	収入済額　218,480円	支出済額　218,480円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
介護人材を育成し、地域に求められる魚津市社会福祉協議会を目指し、組織力強化を行います。 ○介護職員初任者研修を実施し、介護職員確保に努めます。 ○地域福祉を活性化するファシリテーション力を高めるため、研修会を開催します。 ○魚津市社協の強みを活かせる組織力強化に向けた研修会を開催します。		・介護人材の育成を目指した新たな取組みとして、「介護職員初任者研修」を企画し、参加者募集を行いました。カリキュラムの講師には、本会の職員（介護サービス事業所・居宅介護支援事業所・障害相談支援事業所）が担当することにより、組織力強化にも繋がった研修となりました。	・介護職員初任者研修 （期間） 10/1～1/30 の日曜日 ※うち自宅学習５日 （会場） 社協第１会議室 身体障害者ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ

２　魚津善意銀行事業サービス区分（収入済額：16,973,461円　支出済額：10,924,888円）

⑴ 魚津善意銀行事業	予算額　15,779,000円	収入済額　13,246,269円	支出済額　10,924,888円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
市民の皆様からの寄附金や寄附物品をお預かりし、地域福祉活動支援に活用します。 ○善意銀行の在り方の見直しや、時代に応じた寄附金の在り方について検討します。	通年	・市民の皆様からの善意を寄附金、寄附物品として受付けし、地域福祉活動に活用させて頂きました。寄附者が同意されたものについて、市広報にお名前等の掲載や社協だよりへ掲載しました。また、10万円以上の寄附者の方には、社会福祉大会で感謝状を贈呈しました。(R2.5月～R3.4月の間の寄附者) ・福祉団体活動への助成金（５団体）、災害見舞金の支給を１件（住宅全焼）行いました。なお、ともしび助成事業については、申請がありませんでした。	・一般寄附 12,945,909円（83件） ・指定寄附 600,000円（11件） ※指定寄附の内訳 地区社協3件　150,000円 大町ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ1件　50,000円 あったか食堂1件　100,000円 つくし学園3件　140,000円 身障ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ3件　160,000円

３　地域福祉・ボランティア事業サービス区分（収入済額：52,583,044円　支出済額：51,948,892円）

⑴ 見守りネットワーク推進事業	予算額　2,700,000円	収入済額　2,700,000円	支出済額　2,700,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
市内に福祉推進員を配置し、地区社協や民生委員児童委員、福祉推進員との連携を強化し、支援体制の整備を進めます。 ○地区担当職員が地域包括支援センター職員と訪問し、必要な支援に繋げます。 ○新任福祉推進員の役割や活動内容についての研修会を13地区で開催します。	４月　新任福祉推進員研修会（13地区）	・市内に福祉推進員312名を配置し、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、障がい者世帯などの見守りや安否確認、定期訪問を行いました。また、地区社協主催の地域福祉ミーティング等に積極的に参加し、地域福祉活動のキーパーソンとして活動しました。 ・活動記録表に記載された見守り対象世帯で、早期に支援が必要とされた方には、地域包括支援センター職員や市社協地区担当職員による訪問、担当民生委員への報告等を行いました。	・R4.2月末実績 見守り対象者　1,049名 ＜内訳＞ 一人暮らし世帯　803名 高齢者のみ世帯　216名 その他　30名 ・地域福祉ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ開催回数 大　町３回・村　木１回 下中島２回・上中島２回 松　倉２回・上野方２回 本　江２回・片　貝２回 加　積３回・道　下３回 経　田４回・天　神３回 西布施２回　（計31回）

【拡】(2)地域住民グループ活動支援事業	予算額　5,307,000円	収入済額　4,474,948円	支出済額　4,474,948円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
地域における集いの場を設け、高齢者などの孤立防止、仲間づくり、心身の健康維持を促進します。 ○サロン活動を推進するための専任職員（地域活動支援員）を配置します。 ○活動助成金の交付や代表者研修会を開催し、サロン活動が充実するよう支援します。 ○講師派遣の充実やレクリエーション用品の貸出、サロンの世話役となり得る人材育成を行い、サロン活動を支援します。 ○コロナ禍における集いの場のあり方など、新たな課題についての対応策を検討します。	目標サロン設置数： 88か所（現状維持） サロン代表者研修会：年２回 サロン講師派遣：通年 レク用品貸出：通年	・コロナ禍の中、活動に制限がかかる時期があったが、脳トレプリント配付と共に安否確認を行い、開催場所での検温・消毒・換気等の状況確認を徹底し、コロナ感染防止対策を強化した上での開催を支援しました。 ・活動内容の充実に向けてレクリエーション用品の貸出しや講師派遣等を行い、各サロンの活動がより良いものとなるよう支援しました。	・サロン代表者研修会 ３月４日　新川文化ﾎｰﾙ ・市内サロン数　84か所 登録会員数　1,867名 開催回数　1,055回 延べ参加者数　11,153名 市社協職員派遣　27件 講師派遣　175件 ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ用品貸出　115件
(3) 地域総合福祉推進事業	予算額　7,358,000円	収入済額　7,227,100円	支出済額　6,921,876円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
誰もが住み慣れた地域で安心して生活が送れるように住民と共にニーズを把握し、地区社協などと連携して生活課題を解決できるように支援します。 ○第４次魚津市地域福祉活動計画の推進、取組み状況の成果、評価・分析を踏まえ、第５次魚津市地域福祉活動計画（令和４年度～令和８年度）の策定に取り組みます。 ○地区社協間の情報共有や連携強化、地区社協会長・事務局長会議の活性化を図ります。 ○ケアネット活動の周知徹底と質的充実、また、活動を通じて多職種・他機関との連携を図ります。	地区社協会長・事務局長会議の開催 ・全体会議：年２回 ・地区別会議：年１～２回 事例検討会：月２回 地域福祉活動計画推進委員会の開催 ・定期会議：年２回 ・策定会議：年５回程	・地区社協会長事務局長会議を２回開催し、地域福祉活動実践に関する情報交換、市社協からの重要伝達事項等を報告しました。 ・地域福祉ミーティングにおいて、ささえあい活動（見守り活動・ケアネット活動）の周知や活動を始める際のポイント等を説明しました。 ・魚津市地域福祉活動計画推進委員会を４回開催し、市社協の計画及び地区の計画の進捗状況、改善事項等を協議しました。また、ワークショップを各地区で開催し、地域住民の意見を聴きながら第５次魚津市地域福祉活動計画及び第２次小地域福祉活動計画を策定しました。	地区社協会議の開催 ４月９日・３月10日 ・ケアネット活動実績 チーム数　88チーム チーム参加実人数　233名 ・地域福祉活動計画推進委員会の開催 ７月８日・10月４日 12月17日・３月29日 ・ワークショップ開催 ６月17日～11月24日
(4) 地域福祉強化事業	予算額　12,596,000円	収入済額　12,448,630円	支出済額　12,448,630円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等

生活課題を地域住民とともに解決につなげる支援や仕組みづくりを行うため、福祉活動専門員、ケアネット活動コーディネーター及びボランティア活動コーディネーターを配置します。	通年	・３名の専門職を配置し、地区社協の活動支援、ボランティアセンターの運営、地域福祉活動計画の進捗管理、及び次期地域福祉活動計画の策定のための地区ワークショップ等への参加、地域課題のとりまとめ等に努めました。	要援護者の把握、地域包括支援ネットワークの構築、介護予防の促進、各地区地域福祉ミーティング等への参加
⑸ 生活支援コーディネーター活動事業	予算額 8,622,000円	収入済額 8,526,132円	支出済額 8,526,132円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
生活支援コーディネーターを３名配置し、地域における課題やニーズを把握するとともに、活用できる社会資源を発見することで地域の実情に応じた生活支援サービスの発掘、開発を推進します。 〇市と連携し、第３層協議体を東部地区と西部地区に各１地区設置できるよう図ります。 〇13地区のアセスメントシートを作成し、地域資源の洗い出し等に努めます。 〇各研修会、協議体会議に参加し、情報共有及び職員の資質向上を図ります。	魚津市地域包括支援センター主催の地域ケア会議への出席	・魚津市における生活支援体制整備事業の推進のため、生活支援コーディネーターを配置し、地域ニーズの把握及び課題提起、多様な主体への協力依頼、関係機関とのネットーワーク構築、生活支援等サービスの開発等を検討しました。 ・第２層協議体の立上げについて、上野方地区に呼びかけ、10月に研修会を開催しました。協議体が「自分たちの地域活動を進める話し合いの場・地域のことを前向きに語れる場」として定着するよう、継続支援していくこととしました。	地域ケア会議への出席 自立支援型　８回 多職種検討会　１回 全体会　１回 市町村移動支援研修会 訪問サービスＤ（サロン等通いの場を利用する際の前後の送迎）の導入 通所型サービスＢの支援等
⑹ 買い物サービス支援事業	予算額 250,000円	収入済額 250,000円	支出済額 250,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
買い物が不便な地域、高齢や障がいを理由に遠方まで買い物に行くことが困難な方に対して、地域住民や事業者の協力による買い物支援を実践し、福祉のまちづくりを推進します。 〇大町地区、片貝地区、西布施地区社協での安定的な事業実施を目指します。	大町： 市場形式 週１回 片貝： 移動販売 週１回 西布施：乗合買い物タクシー月１回 社会福祉法人の車両協力	・新型コロナ感染症の予防を考慮し、西布施地区は８月、９月及び２月の買い物支援を中止しました。 ・片貝地区は島尻・東城の２か所を廻り、買い物支援を実施しました。西布施地区は魚津交通ジャンボタクシーと社会福祉法人海望福祉会の車両と運転手のご協力を得て実施しました。	各地区買い物利用者数 ・大町地区　919名 ・片貝地区　523名 （島尻 360名／東城 163名） ・西布施地区 69名
⑺ 障害者移送支援事業	予算額 5,425,000円	収入済額 5,348,470円	支出済額 5,348,470円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
専用特殊車両を用いて、常時車椅子で生活をする方に対し主に病院や福祉施設への移動支援を行い	通年	・公共交通機関を利用した移動が著しく困難な障がい者等に対する移動支援を実施しました。	利用登録者 28名（３月末） （うち新規登録４名）

ます。 ○移動支援を行うことにより、地域福祉の増進及び社会生活の利便性を図ります。		・利用回数は、市民税非課税世帯が１か月往復４回、市民税課税世帯が１か月往復３回として対応しました。	運行回数　625回 （片道１回としてカウント） 運行範囲　魚津市、黒部市
⑻ひとり暮らし高齢者給食サービス事業	予算額　825,000円	収入済額　825,000円	支出済額　825,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
ひとり暮らし高齢者等を対象に調理ボランティアによる手作り弁当を配食します。 ○担当民生委員と連携し、配食サービスを必要とする新規利用者の状況を把握し、他のニーズがあれば必要に応じて支援を行います。 ○調理ボランティアの資質向上と交流を図るための研修会を開催します。 ○代表者連絡会を開催し、３地区の配食事業を支援します。	目標提供数：1,560食 上中島： 450食（第２・４土） 上野方： 390食（第２・４金） 経　田： 720食（第１・３土） 研修会・地区別１回 合同１回 連絡会　年２回	・高齢者への見守り活動を兼ねた手作り弁当の提供を行いました。 新型コロナウイルス感染症拡大により、8/20～9/15の間、市からの活動自粛要請があり、配食を休止しました。 ・新規利用者の状況把握のため、担当民生委員、社協の地区担当者、事業担当者で自宅訪問を行いました。 ・調理ボランティアの研修会の開催し、資質向上とボランティア同士の交流を図りました。 ・調理ボランティアグループ代表者の連絡会を年２回（７月、３月）開催し、相談及び対応策の検討を行いました。	【研修会の開催】 第１回　研修会（講義） 参加数　42名 第２回　研修会 （講義、調理実習） 参加数　18名 【上中島】 登録者数：20名 実施回数：22回 配食数：334食 【上野方】 登録者数：23名 実施回数：20回 配食数：346食 【経　田】 登録者数：31名 実施回数：18回 配食数：500食
⑼ ボランティア活動事業			
ボランティアセンター運営事業	予算額　559,000円	収入済額　559,000円	支出済額　559,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
ボランティアへの理解と関心を高め、ボランティア活動への参加を呼びかけるとともにボランティア相互の連携を図ります。また、青少年期から福祉のこころを育み、『共に生きる力』を養うための福祉教育を支援します。 ○新たなボランティア活動者の養成、また、現在登録中ボランティアのフォローアップ研修を開催します。特に、オンライン等を活用した取組みを進	通年 ・ボランティア養成・フォローアップ研修 ・災害ボランティアセンター設置訓練 ・ボランティアサポーター研修会	・災害救援ボランティアセンター設置訓練を実施しました。被災者役・センター職員役・ボランティア役に分かれ、それぞれの役割を体験し、災害時への心構えを学びました。他市社協職員やボランティアサポーター、災害救援ボランティアリーダー等も参加しました。 ・小学校での福祉教育講座としてよつば小学校４年生92名を対象に視覚障害者の生活について授業のサポ	・災害ボランティアセンター設置訓練（８月１日） ・福祉教育講座（11月５日） ・ボランティアセンター運営委員会（２月22日） ・ボランティアサポーター連絡会（３月18日）

<table>
<tr>
<td>めます。
○コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した災害ボランティアセンターの運営（ガイドライン）を踏まえ、設置訓練を実施します。
○ボランティアセンター運営委員会を開催し、ボランティア活動活性化に努めます。
○福祉教育サポーターとの連携により、小・中・高の福祉教育プログラムを提供します。
○教員を対象とした福祉教育の研修会を開催します。
○パラリンピック出場選手への応援や加積地区寺子屋教室の車いすバスケットボール交流会を支援し、福祉教育の高揚を目指します。</td>
<td>・２月又は３月：ボランティアセンター運営委員会
・福祉教育研修会（８月予定）の支援</td>
<td>ートを行いました。市内在住の視覚障がい者のご夫婦に協力依頼を行い、小学生との交流授業を企画しました。実際の生活の中での工夫や歩行の際の白杖や点字ブロックの役割等を教えていただき、障がいを持った方の暮らしを知ることのできる授業となりました。
・ボランティアサポーター連絡会、魚津市ボランティアセンター運営委員会を開催し、地区の現状や福祉課題についての情報交換、ボランティアサポーターの地域での役割等について意見交換を行いました。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>【拡】⑽ 高齢者通所型介護予防事業</td>
<td>予算額　10,576,000円</td>
<td>収入済額　10,223,764円</td>
<td>支出済額　9,894,836円</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">年度計画</td>
<td colspan="2">３年度事業報告</td>
</tr>
<tr>
<td>事業内容等</td>
<td>実施時期・目標等</td>
<td>主な取組み等</td>
<td>実績等</td>
</tr>
<tr>
<td>高齢者が要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で自立した在宅生活を継続できるよう、参加者のニーズ及び身体状況に応じたプログラムを提供します。
○市内誰もが集える拠点１か所（サンプラザ）及び地域での介護予防事業を実施します。
○サンプラザ会場は日曜日、火曜日、水曜日に加え、新たに月曜日も実施します。商店会と協働した教室も開催します。
○地域での介護予防事業は公民館や店舗等の協力を得て、脳まめなけクラブ等の実施や、いきいきサロン・経田コミカフェ潮風の介護予防教室へスタッフを派遣します。</td>
<td>通年
・さんさん介護予防教室にてサンプラザ商店会とのコラボ企画（月１回）
・サンプラザ会場の利用者数は１日受入れ35名上限
・脳まめなけクラブ
前期（５月～８月）
本江公民館
後期（10月～１月）
サンプラザ
・ウエルシア魚津吉島西店
高齢者の趣味を見つける場の提供
・新川文化ホール
趣味教室（65歳以上を対象に趣味を活かせる場の提供）</td>
<td>・利用者増に伴い、サンプラザ会場の開催日数を週１回（月曜日）増やして活動しました。
・コロナ禍のため８～９月に活動の自粛期間があったが、他の月は予定通り活動を行いました。
・サンプラザ会場では午前の体操、午後の趣味の教室や脳トレ、健康麻雀等が好評で、利用者増につながりました。
・地域での介護予防事業として、サンプラザのほか、ウエルシア等も活用し、地域に出向いた介護予防教室を積極的に行いました。また、経田コミュニティカフェ潮風での介護予防教室へのスタッフ派遣や市内２か所で脳の健康教室「脳まめなけクラブ」を実施しました。
・サンプラザ会場での利用者が今年度も増えていることもあり、市担当者及びサンプラザ担当者と今後の取り組みを話し合い、次年度以降の実施日の増加や活動のねらい等を協議しました。
・８月９日に、新しい試みとして、サンプラザ会場にて利用者の家族も対象にした「ふれあいデー」を開催しました。普段の活動を知ってもらうきっかけとなり、体操や脳トレ、折り紙等を3世代で一緒に楽</td>
<td>参加者実績
【サンプラザ会場】
<table>
<tr><td>内容</td><td>男</td><td>女</td><td>計</td></tr>
<tr><td>体操</td><td>405</td><td>4,637</td><td>5,042</td></tr>
<tr><td>交流ゲーム</td><td>551</td><td>658</td><td>1,209</td></tr>
<tr><td>創作趣味</td><td>125</td><td>1,195</td><td>1,320</td></tr>
<tr><td>脳トレ</td><td>204</td><td>1,190</td><td>1,394</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>1,285</td><td>7,680</td><td>8,965</td></tr>
</table>
【ウエルシア】
<table>
<tr><td>男</td><td>女</td><td>計</td></tr>
<tr><td>0</td><td>279</td><td>279</td></tr>
</table>
【脳まめなけクラブ】
<table>
<tr><td>男</td><td>女</td><td>計</td></tr>
<tr><td>26</td><td>213</td><td>239</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

	日	月	火	水	木			
会場等	●サンプラザ（大ホール） 10時30分～14時30分 体操・脳トレ・創作教室等				●脳まめなけクラブ 本江公民館 サンプラザ ●介護予防教室 ウエルシア 新川文化ホール いきいきサロン等		しむ家族の姿もあり、にぎやかに開催できました。 （参加者109人）	

４　総合福祉相談事業サービス区分（収入済額：9,536,752円　支出済額：9,536,752円）

(1) 総合福祉相談事業	予算額　240,000円	収入済額　240,000円	支出済額　240,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
心配ごと、悩みごとなどの様々な相談に対して、必要な福祉サービスに関する情報提供や助言を行います。 ○相談者の問題解決に向けて、社協の関係部署や最適な関係機関等と連携を取りながら、地域で安心して暮らせるようにサポートします。	通年	・資金貸付、経済的困窮、ひきこもり、日常生活に関するさまざまな相談に対し、情報提供や助言を行いました。 ・相談内容に応じて、社協内の他部署や専門機関と連携し、課題解決に向けた継続的な支援を行いました。 ・地区相談会の開催を支援しました。	・心配ごと、悩みごと相談等 件数　2,197件 ・本江地区なんでも相談会 ２月15日　相談３件 ・天神地区法律相談会 ３月５日　相談４件

(2) 日常生活自立支援事業	予算額　6,465,000円	収入済額　6,310,618円	支出済額　6,310,618円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力の不十分な方が、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービス利用援助と利用者の権利擁護に努めます。 ○判断能力の低下や利用者の状況の変化により本事業での支援が困難となる方に対して成年後見制度など適切な支援への移行を勧めます。	通年 利用者数：50名 生活支援員登録者数：25名	・日常的金銭管理サービスや福祉サービス利用援助　など、利用者の判断能力に適した支援を検討しながら、代理、代行、同行、相談の各支援をきめ細やかに行いました。	・実施状況（件） （下表） ３月末実利用者数　52名

	R3	R2	増減
相談援助	1,725	1,019	706
新規契約	2	6	△4
契約終了	7	5	2

○利用者の通帳・印鑑等の保管状況や通帳残高の適正管理に努めます。			【内訳】認知症15名 知的６名・精神27名 その他４名 ・生活支援員連絡会の開催 ２月28日 ・新任専門員研修会への出席 ９月（オンライン）

⑶ 生活福祉資金貸付事業	予算額　1,571,000円	収入済額　1,571,134円	支出済額　1,571,134円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対して、資金の貸付けと必要な相談援助を行い、経済的自立を図り安定した生活を送れるように支援します。 ○借受人の償還状況を把握し、生活状況を確認した上で自立助長につながる相談支援、または償還指導を行います。滞納者に対しては滞納理由に応じた支援や償還方法などについて県社協と協議を行います。 ○コロナ特例貸付における相談。申請（期間限定）、 償還相談などに応じます。	通年	・通常貸付及びコロナ特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）の貸付相談と申請事務を行いました。 ・コロナ特例貸付総合支援資金については、東部生活自立支援センター職員も同席し、自立生活に関する相談対応も含めて支援しました。 ・県社協発行の四半期毎の貸付残高通知及び督促状の送付、滞納借受人への償還指導や民生委員との連携を図りました。	○貸付等相談件数　193件 ○貸付数及び貸付額 ・コロナ特例貸付 緊急小口資金　65件 総額　10,360,000円 総合支援資金　52件 総額　18,470,000円 ・通常貸付 緊急小口資金　11件 （うち生保つなぎ　９件） ○償還完了数 ・コロナ特例貸付 緊急小口資金　１件 ・通常貸付 緊急小口資金　14件 （うち生保つなぎ　９件）

⑷ 生活困窮者自立支援事業	予算額　440,000円	収入済額　440,000円	支出済額　440,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
富山県東部生活自立支援センターと連携し、生活保護に至らない生活困窮者に対して、経済的自立や社会的自立など、本人の状態に応じた自立支援に努め、関係機関との連携を図ります。	通年 ・東部生活自立支援センター巡回訪問の受入れ ・支援調整会議（月１回）への出席	・生活困窮者への生活相談、生活福祉資金貸付相談、就労相談、家計相談を行いました。 ・相談内容に応じ、既存事業（生活福祉資金や日常生活自立支援事業等）を活用しました。 ・東部生活自立支援センター、魚津市社会福祉	・魚津市生活困窮者自立支援調整会議への出席 4/19、6/21、7/19、8/23、9/27、10/18、12/20、2/21、3/24

○コロナ禍の影響による減収・失業等で生活困窮等に至る新規相談も急激に増加していることから、相談者に寄り添った支援に努めます。 ○食べることに困っている方や喫緊に生活上の困難に直面している方に対して、必要に応じて緊急的に食料支援を行う「フードネーション支援」を継続するとともに、食料を提供して頂ける協力者を募集します。	・富山県東部生活自立支援ネットワーク会議（年１回）	課・こども課、ハローワークとの情報共有を図りました。 ・「フードネーションうおづ」事業として、生活困窮者への食糧提供を実施しました。	・「フードネーションうおづ」 食糧提供 69件 （団体15件・個人54件） 食糧受領 38件 （団体12件・個人26件）
⑸ 法人後見推進事業　予算額　295,000円		収入済額　295,000円	支出済額　295,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
認知症や障がいなどで判断能力が不十分な方を支援するため、当法人が法人後見人となり権利擁護に努めます。 ○法テラスや行政等関係機関と連携した成年後見制度の普及啓発、相談に応じます。 ○新規ケースの受任適否、法人後見業務などについて、法人後見推進委員会の指導及び助言を受け、適切な事業の運営に努めます。	法人後見推進委員会 ・定期開催：年１回 ・受任適否に関する委員会：適宜	・判断能力がない方、不十分な方への後見等業務を当法人が担い、法人後見推進委員会の指導や助言を頂きながら、被補助人及び被後見人の意思決定支援に努めました。 ・法テラスと連携し、成年後見制度に関する普及啓発を図りました。	・後見人等の業務 被補助人１名 （月１回支援） 被後見人２名 （月１回支援） ・法人後見推進委員会の開催 （新規受任の件）　11月５日 （支援経過報告）　２月17日
【拡】⑹ 市民後見人養成講座開催事業　予算額　250,000円		収入済額　250,000円	支出済額　250,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
成年後見人等の担い手として専門職以外に市民の立場で後見活動を行う「市民後見人」を養成するため、成年後見に関する知識・技術・社会規範・倫理性を習得する研修会を開催します。	成年後見セミナー 年１回 市民後見人養成講座（実務） 年１回 ※複数日開催	・成年後見制度全般に関する正しい知識と関連する諸制度の内容を習得してもらい、身近な立場で支援する市民後見人としての人材養成を目的に、市民後見人養成講座（基礎・フォローアップ研修）を開催しました。	・市民後見人養成講座 （基礎・フォローアップ研修） 10月７日～12月９日 （全９日間） 受講数６名 （基礎２名／フォロー４名）
【新】⑺成年後見制度利用促進体制整備推進事業　予算額　430,000円		収入済額　430,000円	支出済額　430,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等

地域において必要な人が成年後見制度を利できるよう、地域における相談窓口を整備し、「権利擁護支援の地域連携ネットワーク」の取りまとめ役となる中核機関の整備を市と協力して進めます。 ○協議体（福祉・医療・法律・司法・その他関係者で構成する合議体）を立上げ、顔の見える関係を作ります。 ○中核機関に求められる４つの機能（広報・相談・制度利用促進・後見人支援）が果たせるよう、研修会等で資質向上に努めます。	中核機関の立上げ 目標年月：令和４年３月	・成年後見制度利用促進体制整備（中核機関の設置）に向け、市担当者との協議、オンデマンド等による研修を受講しました。 ・魚津市成年後見・権利擁護推進協議会に参加し、中核機関の体制整備や成年後見制度の利用促進に関する事項について協議しました。 ・成年後見セミナーを開催し、中核機関に関する周知や司法、医療、福祉等の地域連携ネットワークの形成を図りました。 ・魚津市成年後見支援センターによる相談窓口を３月１日に設置（市社会福祉課・市社協）しました。	成年後見・権利擁護推進協議会 ・７月30日（第１回） ・11月５日（第２回） 成年後見セミナー開催 ・７月21日（第１回） 参加者20名 ・２月24日（第２回） 参加者 26名 相談支援件数　５件

５　共同募金事業サービス区分（収入済額：3,826,606円　支出済額：3,828,606円）

⑴ いきいきサロン活動事業	予算額　900,000円	収入済額　900,000円	支出済額　900,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
地域における集いの場を設け、高齢者などの孤立防止、仲間づくり、心身機能の維持、役割の創出などに努めます。 ○サロンへ活動助成金を交付し、活動の充実を支援します。	目標サロン設置数： 88か所（現状維持）	・市内84か所のサロンへの活動助成金の交付を行いました。	・助成額 総額2,028千円のうち本事業での助成額616千円
⑵ 地区社協活動推進事業	予算額　1,011,000円	収入済額　1,011,000円	支出済額　1,011,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
13地区社協の活動を支援します。 ○小地域福祉活動計画に基づく各種活動の実践を支援します。 ○小地域福祉活動計画の進捗に関する管理及び次期計画策定に関する支援を行います。	通年 地域福祉活動計画推進委員会 定期開催：年２回 策定に関する会議:通年	・小地域福祉活動計画の取組みへの支援並びに地域福祉活動計画推進委員会を開催し、各種取組みの進捗状況、評価、改善事項の報告と次年度計画（第２次）策定に向け協議しました。 ・各地区でのワークショップの開催や、第２次小地域福祉活動計画策定に関する支援を行いました。	地域福祉活動計画推進委員会 ７月８日・10月４日 12月17日・３月29日 ・ワークショップの開催 6月17日～11月24日

(3) 福祉でまちづくり活性化事業	予算額　480,000円	収入済額　480,000円	支出済額　480,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
地域における課題を解決するため、養成講座や研修会を開催し、次世代を担う福祉人材を養成します。 ○人材発掘や成り手不足が全市的な課題となっている中、市や県社協、他業種など様々な分野と福祉が協働して、地域を基盤に福祉教育の視点も活かした「まちづくり」に繋がる研修会等を企画します。 ○魚津市まちづくりフォーラムに参加し、社協の事業の周知・ＰＲを行います。	通年 養成講座の開催 まちづくりフォーラム：２月頃	・富山国際大学：村上　満教授を講師に迎え、「他人事を我が事に変えていく地域づくりのレシピ」と題し、研修会を開催しました。福祉関係者のみならず、学校関係、行政、地域振興会などの方々が一堂に会しました。 ・SDGs の目標とも合わせながら『住みやすい地域づくり』を構築していくには、各々が個別に活動するのではなく、それぞれが役割を認識し、協働していく仕組みを事例等を通して学びました。 ・「魚津市まちづくりフォーラム 2022」については、３月６日(日)にオンライン形式で開催されました。地区振興会等の活動発表を踏まえ、地域福祉の分野も協働して取り組むことの重要性を学ぶことができました。	・福祉でまちづくり研修会 （２月25日 ありそドーム研修室） 参加者　57名 （内訳） 学校関係　３名 行　政　４名 地区社協　13名 民生委員　11名 地域振興会　７名 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｻﾎﾟｰﾀｰ　６名 福祉施設　１名 ＮＰＯ法人　１名 青年会議所　３名 職員等　８名

(4) ささえあいマップづくり事業	予算額　100,000円	収入済額　100,000円	支出済額　100,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
ささえあいマップを活用して身近な居住地域の情報を共有し、地域課題の解決方法を考えます。 ○日頃からどのような助け合いや支え合いが行われているかを話し合い、可視化することで「見守り体制の充実」、「集まりの場」、「災害時の活動」など、町内会の活性化に必要な今後の取り組みを検討します。 ○ささえあいマップづくり策定地区の更新を支援します。 ○他事業と連携し、ささえあいマップに関する普及啓発を行います。	通年	・マップの更新作業に職員を派遣し、日頃の見守り活動に関する振り返りを行うと同時に、近隣住民によるささえあいの活動に関する重要性などについて理解の促進を図りました。 （上野方地区、西布施地区）	マップ作成及び更新 新規作成：なし 更新作業 道下（７月～各行政区で実施） 加積（９月～） 西布施（11月27日） 上野方（12月１日～４日） 経田（各行政区で実施）

(5) 社会福祉大会開催事業	予算額　585,000円	収入済額　583,606円	支出済額　583,606円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
第70回魚津市社会福祉大会を開催します。	日時：７月10日(土)	・コロナ禍を考慮し、表彰式及び感謝状贈呈のみ	社協会長表彰　20名

○福祉関係者をはじめ、広く市民の皆さんが地域福祉を考える機会とします。 ○福祉事業功労者の表彰、大会宣言の承認と大会決議の採決、記念講演を実施します。	13時30分 会場：新川文化ホール	で開催しました。	社協会長感謝状　７名 １団体

(6) 広報啓発活動事業	予算額　459,000円	収入済額　459,000円	支出済額　459,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
「より見える、見やすい社協活動」を常に意識し、住民の福祉活動の理解と地域福祉活動参加意欲の促進を目指します。 ○社協だより、ホームページを活用しより分かりやすい内容でタイムリーな情報発信に努めます。	広報誌発行：年３回 （６月・10月・３月） ホームページの更新 フェイスブックなどの活用検討	・うおづ社協だよりを発行し、コロナ禍で様々な地域福祉活動が自粛される中においても、可能な活動としてのボランティア活動を特集し、活動への理解を促進しました。また、読者プレゼントクイズの企画、市民の意見を反映した親しみある紙面づくりに努めました。	うおづ社協だより （７月・12月・３月） ホームページでの各種事業や取組みの周知

(7) 魚津あったか食堂事業	予算額　120,000円	収入済額　120,000円	支出済額　120,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
「あったかいごはんをみんなで食べよう」を理念に家庭の味を低額で提供し、子どもも大人も気軽に利用できる「魚津あったか食堂」の事務局を担い、活動を支援します。なお、令和３年度から食堂事業の活動費を助成する運営に変更となります。 ○調理等のボランティアスタッフで組織する「魚津あったか食堂運営委員会」が主体となって月１回（原則第４土曜日。ただし、１月と７月は除く。）開催します。 ○コロナ禍の対応として、市内児童センターの児童と保護者、生活困窮者の方へは市社協職員が配達して昼食を提供します。	全10回開催 4/24　5/22 6/26　8/28 9/25　10/23 11/27　12/18 2/26　3/26	・市内４児童センターでは配食、生活困窮の方には各家庭への配達を行いました。 ・今年度より児童発達支援センター「つくし学園」への配達を開始し、障がい児の保護者の方へのレスパイトとして、温かい食事の提供を行いました。 ・コロナ禍を考慮し、９月と２月については、調理は行わずお米や食料の提供のみを行いました。 ・地域の方からの寄附金や寄附食材も多く、活動の資源となりました。	４/24　163食 ５/22　159食 ６/26　192食 ８/28　中止 ９/25　10世帯食糧支援 10/23　183食 11/27　142食 12/18　133食 ２/26　９世帯食糧支援 ３/26　88食

【拡】(8)共生社会づくり推進事業	予算額　175,000円	収入済額　175,000円	支出済額　175,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
若い世代にも福祉への興味関心を持ってもらうめに、デザイン性の高い情報誌を発行し、共生社会の実現を目指します。 ○障がいのある人たちの暮らしや、活動などを紹介する情報誌を発行します。	情報誌発行 年１回	・障がいのある人たちの暮らしや、活動を紹介するための情報誌を発行しました。	情報誌名 ＥＱＵＡＬ vol.２ 2,000部発行

２　児童センター拠点　（収入済額：83,241,754円　支出済額：82,542,098円）

１　児童センター管理経営事業（収入済額：50,084,334円　支出済額：49,384,678円）

(1) 児童センター管理経営事業	予算額　50,625,000円	収入済額　50,084,334円	支出済額　49,384,648円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
児童が健全な遊びを通して心身を育成し情操を豊かにできるよう、地域の期待に応える児童センターの経営に努めます。 〇児童が安心して過ごせる居場所の確保・危険防止と過ごしやすい環境を整備します。 〇子どもの自主性、社会性、創造性などを育めるよう、魅力ある遊びのプログラムの企画や、各地域に根ざしたイベントを行います。 〇小学校長や主任児童委員等で構成する児童センター運営会議を開催し、意見や助言を求め、適正な管理等に努めます。	利用者目標： 64,000人 （前年度目標： 64,000人） 児童センター運営会議 年１回 （５月に開催予定）	・コロナ感染症対策を徹底し、安心して過ごせる居場所づくりに努めました。 ・児童の健全育成を目的に遊びのプログラムを企画するとともに、遊具の充実に努めました。平日利用できない児童のために土曜日にイベントを行い、来館するきっかけづくりに努めました。 ・児童センター運営会議を５月28日に開催し、委員の方々からの意見を伺いました。児童センターで実施している事業全体の利用実績や今後の検討事項の確認を行いました。	【利用者数】 かもめ　8,408名 つばめ　18,989名 ひばり　13,180名 すずめ　14,397名 合計　54,974名 【前年度利用者数】 かもめ　5,758名 つばめ　15,223名 ひばり　11,356名 すずめ　14,858名 合計　47,195名

２　放課後児童健全育成事業サービス区分（収入済額：23,632,290円　支出済額：23,632,290円）

(1) 放課後児童健全育成事業	予算額　25,150,000円	収入済額　23,632,290円	支出済額　23,632,290円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
下校後に保護者が仕事等で家庭にいない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し健全な育成を図ります。 〇保護者、学校、地域等関係機関と連携を図り、子ども自身への支援と同時に子どもの生活の基盤である家庭での養育を支援することに努めます。 〇放課後児童支援員の資質向上を目指し、専門性を高めます。	通年（月～土曜日）	・コロナ感染対策を徹底し、登録した低学年の児童を放課後や学校休業中に預かり、健全な育成に努めました。また、児童センター機能を活かし、体力の増進や様々な遊びの指導を行いました。 ・保護者や学校と連携し、個々に配慮しながら集団生活の中で安心して過ごせるよう見守りました。 ・配慮を必要とする児童への関わりのため、臨床心理士の指導を受け支援員の資質向上を図りました。	【利用者数】 かもめ　6,011名 つばめ　14,739名 村　木　4,606名 ひばり　10,617名 すずめ　10,739名 合計　46,712名 【前年度利用者数】 かもめ　4,463名 つばめ　12,953名 村　木　2,510名 ひばり　10,292名 すずめ　11,179名 合計　41,397名

３　地域子育て支援事業サービス区分（収入済額：7,425,800円　支出済額：7,425,800円）

(1)　地域子育て支援事業	予算額　6,078,000円	収入済額　6,070,800円	支出済額　6,070,800円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
乳幼児親子が気軽に集い交流できる場を提供し、子ども同士の交流や、子育ての不安・悩みを解消できるよう親子教室を開催します。 ○乳幼児親子を対象にした会員登録制「親子教室」をひばり、つばめ、すずめ児童センターで毎週水曜日に開催します。 ○自由に参加できる「ひろば」をひばり（月）、つばめ（火）、すずめ（木）児童センターで週１回、「ひろば：子育て相談」を毎週金曜日に開始します。 ○ファミリーサポートセンターの利用会員同士の交流会を開催し、地域住民との交流活動を行います。	通年 目標利用組数 親子教室(週１回) 親子延べ1,000組 ひろば(各センター週２回) 親子延べ1,200組	・乳幼児親子を対象に、会員制の親子教室を週１回開催しました。手遊びや絵本等の読み聞かせ、運動や制作活動など、楽しめる遊びを提供しました。 ・自由に参加できる「ひろば」を３センターで曜日を変えて実施しました。親子の中には、３センターの「ひろば」を利用する方もおられるため、様々な活動が体験できるよう、センター間で話し合い遊びを実施しました。 ・毎週金曜日に「子育て相談」を実施し、親子で自由に遊び、また、相談できる体制に努めました。	親子教室（水曜日） 108回（各36回） 幼児　865名 保護者　772名 ひろば・子育て相談 246回（各82回） 幼児　1,257名 保護者　1,067名

【新】(2)つばめ児童センター日曜開館事業	予算額　1,355,000円	収入済額　1,355,000円	支出済額　1,355,000円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
名称を「みなＳＵＮ　デイ～日曜はつばめであそぼう」とし、休日にも天候に関係なく親子で一緒に楽しむことのできる活動を提供します。 ○つばめ児童センターを第２・４日曜日開館します。 ○親子で楽しめる遊具の整備、親子行事（１日２回実施）を行い、親子が楽しいと実感できる企画を提供します。	つばめ児童センター 第２・４日曜日 (9時30分～16時)	・つばめ児童センターで４月25日（第４日曜日）から日曜開館を月に２回実施しました。 ・親子で楽しめる遊具（ハンモックブランコや大型エアーポリン等）を新たに設置し、季節行事に合わせた制作活動、スポーツやゲームなどに参加されました。 ・外部講師によるしゃぼん玉ショーやノビ山本氏のバルーンアートには多くの家族が参加しました。	第２・４日曜日 開館日数：21日 利用者数 小学生　219名 幼　児　378名 保護者　443名 合計　1,040名

４　ファミリーサポートセンター事業サービス区分（収入済額：2,099,330円　支出済額：2,099,330円）

(1)ファミリーサポートセンター事業	予算額　2,100,000円	収入額　2,099,330円	支出額　2,099,330円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助を行いたい人（協力会員）が相互援助活動を行い、保護者が仕事と育児を両立できるように支援します。 ○児童センターを利用している保護者との交流会を開催し、より利用しやすい関係づくりを行い会員増を目指します。 ○子育て応援講座を開催し、育児に関する学びの場、会員同士の交流や事業の周知を行います。	通年	・預ける人も預かる人にも不安があり、少しでも軽減できるように、つばめ児童センターを活動場所として提供しました。 ・利用についての相談や問い合わせが増加しているが、預かってくださる協力会員が減少傾向となりました。 ・子育て応援講座に親子教室の会員も多く参加がありました。	預かり支援：19回 交流会：３回 （11月～12月） 依頼会員：88名（10名減） 協力会員：23名（昨年同） 両方会員：２名（昨年同）

3 障害福祉サービス拠点　（収入済額：112,810,142円　支出済額：93,290,133円）

1　障害者交流センター管理経営事業サービス区分（収入済額：4,062,709円　支出済額：3,911,262円）

(1) 障害者交流センター管理経営事業	予算額　4,145,000円	収入済額　4,062,709円	支出済額　3,911,262円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
障がいのある人たちの自立と社会参加の促進に寄与するための施設づくりに努めます。 ○利用者が利用しやすい交流の場、活動の場となり障がいのある人たちの居場所づくりに努めます。 ○パラリンピック出場選手への積極的な支援、障がい者ダンスチームの支援など障がい者のスポーツ、文化活動の充実を図ります。 ○障がいのある人たちの地域生活への理解を促進するため、交流イベントの開催、情報発信を行います。	開所日： 火～日 9時～17時	・交流センターだよりを発行して、東京2020パラリンピック出場選手の応援や交流センターで開催された研修会に関する情報提供を行い、利用促進に努めました。 ・「ダンス教室」を月２回開催し、余暇活動の場や交流の場として活用して頂きました。 ・コロナ禍での休館、イベントや行事の中止、縮小されたことにより利用者数は大幅に減少しました。	利用者数 4,913名 交流センターだより 年２回発行 前年度利用者数 5,571名

2　障害者地域生活支援事業サービス区分（収入済額：18,173,119円　支出済額：17,386,720円）

(1)　障がい者相談支援事業	予算額　9,550,000円	収入済額　9,550,389円	支出済額　9,550,389円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
障がい者やその家族等からの様々な相談に応じ、地域で自立した日常生活および社会生活が送れるよう、相談支援を行います。 ○地域に暮らす障がいのある人たちを支えるために、さまざまな関係機関との連携するとともに、相談支援の質の向上を図ります。 ○障がいのある人たちが地域で暮らしていくために必要な仕組みづくり、障がい者福祉に関する理解を推進する取組みを行います。		・障がい者やその家族の相談について、電話や訪問、来所などで対応しました。個々に合った対応を一緒に考え、支援に努めました。 ・障がい者が住みやすいまちづくりや、障がい者理解のための周知について、各障がい者団体の活動支援とともに実施しました。 ・新川地域自立支援協議会地域生活部会の幹事として、新川圏域の緊急時対策の体制整備について研修会を開催しました。	委託相談件数 2,693件 【前年度件数】 3,112件

【拡】(2) 障害者計画相談支援事業	予算額 7,156,000円	収入済額 7,922,730円	支出済額 7,138,880円
年度計画		3年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
様々な障害福祉サービスを利用する際に必要となる「サービス等利用計画」の作成や、サービス利用後の計画見直し（モニタリング）を行い、地域での安心した生活が送れるよう支援します。 ○障害福祉サービスを利用するための「サービス等利用計画書」の作成と定期的なモニタリングを実施します。 経営改善に向けた取組み 適切な加算による収益増、継続サービス利用支援（モニタリング）の実施件数の増加	サービス等利用計画作成：180件 モニタリング：180件	・市内の障がいのある人の様々な相談に応じ、福祉サービス等の情報提供や不安の軽減、地域で豊かに暮らしていくための社会資源づくりに努めました。 ・福祉サービスを利用する人に対して、その人の生活実態に応じたきめ細かいサービス等利用計画とモニタリングを実施し、増収に繋げました。 ・新川地域自立支援協議会相談部会での事例検討会に月１回参加しました。	計画書 191件 モニタリング 308件 【前年度】 計画書 148件 モニタリング 212件

(3) 手話・朗読奉仕員養成事業	予算額 420,000円	収入済額 420,000円	支出済額 420,000円
年度計画		3年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
聴覚障がい者の自立と社会参加を推進するために必要なコミュニケーション支援を行う手話奉仕員の養成を行います。 ○「魚津市民手話教室・基礎講座」を開催します。	市民手話教室・基礎講座（全25回）	・手話奉仕員養成のため市民手話教室（基礎講座）を開催しました。	市民手話教室 ８月21日～１月８日の間の毎週金曜日（全25回） 13名受講（修了者９名）

(4) 障害者ＩＴ推進員派遣事業	予算額 280,000円	収入済額 280,000円	支出済額 280,000円
年度計画		3年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
障がい者のパソコン等の使用に関する相談や援助を行い、社会参加を促進します。 ○障害者交流センターで「障がい者パソコン教室」を開催します。	パソコン教室開催日 毎月　第4土曜日	・障害者交流センターで月１回、パソコン教室を開催しました。タイピングやインターネットの使用方法などを練習しました。	毎月第４土曜日

３　グループホーム大光寺事業サービス区分（収入済額：8,455,836円　支出済額：7,674,127円）

(1) グループホーム大光寺事業	予算額　9,259,000円	収入済額　8,455,836円	支出済額　7,674,127円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
利用者一人一人が地域でその人らしい自立した暮らしができるよう支援します。 ○ニーズに応じた個別支援計画を立て支援するとともに、定期的にモニタリングを実施します。	サービス提供： 通年 利用者６名	・利用者に関する状況についての情報交換と、世話人や管理者の支援方法の協議、共有を目的として定例的なミーティングを開催することで、利用者への適切な支援や世話人の資質向上に繋げることができました。	知的障がい者６名（男性） ミーティング　月１回

４　つくし学園管理経営事業サービス区分（収入済額：82,118,478円　支出済額：64,315,475円）

(1)　つくし学園管理経営事業	予算額　73,982,000円	収入済額　77,066,158円	支出済額　59,263,155円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
新川地域の中核的な児童発達支援センターとして、専門的な「発達支援」「家族支援」「地域支援」を提供します。 ○第４回目指定管理（令和３～５年度）から利用料金制の導入により、適切な加算請求による収入確保により安定的な運営を行います。 ○医療的ケア児の受入れを行うための看護師配置、地域の保育園との併行通園への対応、家庭訪問等の相談機能の充実などにより質の高い「児童発達支援事業」を実施します。 ○「保育所等訪問事業」を実施し、保育園だけでなく、小学校、学童クラブなどでの環境整備、支援方法を伝えます。	サービス提供日： 月～金 利用定員：20人	【児童発達支援事業】 ・コロナ感染症対策を徹底し、園児の発達段階、健康状態をきめ細かく把握し、一人ひとりに合わせた発達支援と安全な園運営に努めました。 ・コロナ感染対策を考慮しながらも安心安全に遊べる児童　センターへ園外保育に出掛けたり、寒天あそびや小麦粉粘土遊びなど感覚遊びを多く取り入れ、活動の幅が広がるよう努めました。 ・医療的ケア児や歩行困難など、より質の高い支援が必要な子どもたちが増えており、医療機関や専門職との連携を強化しました。 【保育所等訪問支援事業】 ・保育所を訪問し、発達の特性に応じた関わり方や支援方法について担当職員とともに検討しました。また、小学校や放課後児童クラブへの訪問支援も行い、子どもの成長発達に応じた支援ができるよう努めました。 【障害児相談支援事業】 ・本人の希望、家族の願いに沿ったサービス等利用計画とモニタリングを実施しました。	・児童発達支援 契約園児数:29名 開所日数:241日 延べ利用者数:4,476名 【前年度】 契約園児数　27名 開所日数　239日 延べ利用者数　4,813名 ・保育所等訪問 契約者数:41名 延べ利用者数:137名 ・障害児相談支援 サービス等利用計画 契約者数:116名

(2)　療育等支援事業	予算額　5,104,000円	収入額　5,052,320円	支出額　5,052,320円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
障がい児や支援の必要な子どもたちや保護者からの相談を受け、生活を支えるため個別支援や地域の関係機関とのネットワークづくりを行います。 ○個別療育相談、気になる子どもたちのスキルアップ教室（りんご教室）を開催します。 ○保育士の交流会等支援者向けの研修会を開催します。 ○医療的ケア児、保護者の交流の場をつくり地域で暮らす仲間づくりを行います。	りんご教室 （５クラスで実施） 医療的ケア児交流会 （年５回）	・家庭や健康センターに出向いての相談、土曜日の相談対応、また、保護者の集いに合わせて相談を行うなど、環境を整えました。 ・地域の保育士を対象に、発達が気になる子どもの支援方法やその家族の支援について講演会を開催しました。 ・医療的ケア児とその保護者の交流会を開催し、情報交換の場や、地域で暮らす仲間づくりに取り組みました。	・療育等支援 個別相談:748回 グループ療育:54回 施設支援:114回 ・医療的ケア児交流会 年３回 延べ参加者数:25名

4　介護保険サービス拠点　（収入済額：554,906,259円　支出済額：271,094,024円）

1　ホームヘルパーステーション事業サービス区分（収入済額：200,293,212円　支出済額：97,165,221円）

(1) ホームヘルパーステーション事業　予算額　197,173,000円		収入済額　200,293,212円	支出額　97,165,221円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
要介護の方、障がいのある方が、地域で安心して自立した日常生活を送ることができるよう支援します。また、利用者の方に寄り添い、ニーズに応じたサービスの提供に努めます。 ○介護保険法による「訪問介護」「総合事業」、障害者総合支援法による「居宅介護」「同行援護」を実施します。 ○受診同行や介護保険サービス外の必要なサービスについて、私的サービス事業を提供します。 ○利用者のニーズに応じた多様なサービス提供に努め、迅速かつ効率的・柔軟性のある質の高いサービス提供を行います。 ○障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業を活用し、職員がより安全な介護を行います。 **経営改善に向けた取り組み** ・介護職員の確保による安定的なサービス提供 ・新規利用者の積極的な受入れ	サービス提供日 12月29日～1月3日を除く毎日 **目標訪問件数： 32,000件** 訪問介護：20,580件 総合事業：5,040件 障がい：6,060件 私的援助：320件	・緊急時の迅速な対応や利用者ニーズ、自立支援を重視したサービス提供に努めました。 ・多様化するニーズに適切に対応するため、多職種との連携や情報交換に努めました。 ・コロナ禍の中、感染予防に留意し事業所内でのミーティングを充実させ、質の高いサービス提供に努めました。 ・介護保険サービスでは、総合事業の利用者の方が要介護に移行されたケースや、終末期を在宅で過ごされるケース等により、訪問介護（要介護の利用者）件数の増加に繋がりました。一方で、総合事業と私的サービス利用者の減少がみられ、全体として、目標訪問件数に対して89件減、前年度実績より234件減という結果になりました。 ・経営改善に向けた取り組みでは、新規利用者を積極的に受け入れるための体制として、定着できる環境や待遇、新たなスタッフ募集に鋭意努めました。	サービス提供日 12月29日～1月3日を除く毎日 （訪問件数） 訪問介護　21,969件 総合事業　3,306件 障がい　6,336件 （同行・移動支援含む） 私的ｻｰﾋﾞｽ　300件 **合計　31,911件** （職員数） 28名 （前年度訪問件数） 訪問介護　21,151件 総合事業　4,221件 障がい　6,410件 （同行・移動支援含む） 私的ｻｰﾋﾞｽ　363件 **合計　32,145件**

２　東部デイサービスセンター事業サービス区分（収入済額：166,020,683円　支出済額：86,912,930円）

⑴ 東部デイサービスセンター事業	予算額　167,395,000円	収入済額　166,020,683円	支出済額　86,912,930円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
要介護状態となった方々の食事・排泄・入浴介助などの日常生活等の援助とともに、閉じこもり予防、心身の機能維持、家族の介護負担の軽減に努めます。 ○認知症対応型デイサービスの充実を図り、認知症の方々の進行予防や周辺症状の緩和に努めます。 ○通所介護、総合事業を実施し、利用者ニーズに応じて迅速かつ柔軟な受け入れを行い利用しやすい施設づくりを図ります。 ○質の高いサービス提供とともに、収支バランスを意識した経営管理を行います。 経営改善に向けた取り組み ・安定的なサービス提供を実施するための介護職員確保 ・施設の長寿命化に必要な修繕等の実施	サービス提供日： 年間 360日 利用定員： 通所介護（総合事業含む）23名 認知症対応型通所介護　12名 目標利用者数： 10,080名 通所介護：5,520名 認 知 症：3,480名 総合事業：1,080名	・２月に利用者からコロナ陽性者が発生した為、３日間閉館し、クラスターの発生を抑えました。 ・ユマニチュード（認知症高齢者への有効なケア技法）の研修を施設内で数回実施し、職員の資質向上に努めました。また、認知症実践者研修に１名参加させることができました。 ・地域住民への認知症ケアの啓発活動として、年３回の社協だより（７月・12月・３月）への記事掲載や、12月に開催された道下地区地域福祉ミーティングでは、福祉推進員や民生委員の方を対象に、認知症ケアの講演を行いました。 ・ＩＣＴ化に向け、県の補助事業の申請を行い、システムの改善を図りました。 ・経営改善に向けた取り組みでは、グループホーム等への入所が多く、利用者確保が難しくなってきた為、空き情報の定期的な各居宅介護支援事業所への連絡や１日あたりの職員配置数を減らすなど、収支バランスを意識した対策を取りました。また、次年度以降の営業日数の変更（週７日⇒週６日）を検討しました。 また、必要な修繕等では、給湯ボイラー等更新工事（5,478千円）を行いました。	・営業日（12月31日～翌年1月３日を除く毎日） ・コロナによる閉館日（２月８日～２月10日） （利用者数） 通所介護　5,427名 認知症対応型　3,304名 総合事業　531名 合計　9,262名 （職員数） 25人（運転手含む） （前年度利用者数） 通所介護　5,596名 認知症対応型　3,470名 総合事業　708名 合計　9,774名

３　身体障害者デイサービス事業サービス区分（収入済額：88,266,499円　支出済額：42,855,963円）

⑴ 身体障がい者デイサービス事業	予算額　8,617,000円	収入済額　8,626,675円	支出済額　8,605,628円
⑵ 通所介護・生活介護事業	予算額　77,744,000円	収入済額　79,639,824円	支出済額　34,250,335円

年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
障がいのある人々の自立と社会参加を目的に、利用者ニーズの応じた幅広いサービス提供を行います。 ○障害者総合支援法に基づく「共生型生活介護サービス」、介護保険法に基づく「通所介護」「総合事業」、児童福祉法に基づく「共生型放課後等デイサービス」を実施します。 ○関係機関と連携を図り利用者の個性を活かした質の高いサービス提供を行います。 ○オンラインを活用した新たな交流活動の実施や、地域住民向け福祉講座の開催など、利用者の強みを活かした取組みを行います。 経営改善に向けた取り組み ・相談支援事業所等との連携による新規利用者の受入れ促進 ・放課後等デイサービス事業によるサービス提供時間外料金の見直し	サービス提供日： 月～土 利用定員：23名 目標利用者数： 5,280名 通所介護：　1,200名 総合事業：　480名 生活介護：　2,880名 身障デイ：　200名 放課後等デイ：520名	・手芸クラブを立ち上げ、秋の作品展に出展しました。（タイダイ染めＴシャツ、エコバッグ、マスクチャーム、クリスマスリース、正月飾り等） ・東京2020パラリンピックのボッチャ日本代表チームの藤井選手を激励するため、「火ノ玉ＪＡＰＡＮ」応援動画に参加しました。 ・コロナ禍でのイベント等でボランティアを募ることはなかったが、利用者自身が主体となって地域のリサイクル活動や地元の商店を活用して地域との交流を図りました。 ・12月の障害者週間に合わせて、魚津市立図書館で平成12年の開所当初から継続しているゴム版の手彫りカレンダー展を開催しました。利用者一人ひとりができることを日常の何気ないやり取りや支援の中で、見つけることができました。 ・実習生の受け入れを積極的に行い、障がい者福祉への理解促進に努めました。 ・経営改善に向けた取り組みでは、他の事業所からの紹介により新規利用者を確保できました。また、次年度からの営業日数の変更（週６日⇒週５日）について検討しました。	営業日：月曜日～土曜日 （祝祭日、12月29日～翌年１月３日を除く） 利用定員：23名 （利用者数） 通所介護　1,818名 総合事業　523名 生活介護　2,038名 身障デイ　199名 放課後等デイ　605名 合計　5,183名 （職員数） 16名（運転手含む） （前年度利用者数） 通所介護　1,288名 総合事業　499名 生活介護　2,552名 身障デイ　210名 放課後等デイ　500名 合計　5,049名

４　居宅介護支援事業サービス区分（収入済額：100,325,865円　支出済額：44,159,910円）

(1)　居宅介護支援事業	予算額　101,199,000円	収入済額　100,325,865円	支出済額　44,159,910円
年度計画		３年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
利用者の尊厳保持や自立支援を重視した公正、中立、誠実なケアマネジメントを実施し、地域で安心して暮らすことのできるケアプランの作成を行います。 ○研修会等に参加し、職員の質の向上図り、困難事例への対応や社協らしいケアマネジメントを実践します。 ○多職種や地域との連携を強化し、地域包括ケアを実践し地域貢献に努めます。 ○東部デイサービスセンターへの事務所移転を行い、事務所環境を整備し経営管理体制の充実を図ります。 経営改善に向けた取り組み ・報酬の見直し等による適切な加算請求 ・新規利用者の積極的な受入れによる利用件数の増加	介護支援専門員 常勤：５名 パート職員：３名 主任介護支援専門員：３名配置 目標利用件数： 3,420件 要介護1・2：2,340件 要介護3～5：1,080件	・利用者の尊厳保持や自立支援を重視し公平、中立、誠実なケアマネジメントを実施しました。また、利用者のニーズや生活スタイルに合わせた、その人らしい計画書の作成を行いました。 ・定期的な事業所内事例検討会の実施、各種研修会へ参加し、職員の質の向上に努めました。 ・関係機関と連携して困難事例に積極的に関わったり、新規利用者を断らないなど、地域貢献に努めました。 ・コロナ感染予防対策のため、スマートフォンを有効に活用し、関係機関との連携をスムーズにしたり、音声文字入力アプリを活用することで作業効率の向上を図りました。 ・経営改善に向けた取り組みでは、経営管理体制の充実のため、職員間でのコスト管理の徹底を図り、効率的な業務と安定した経営ができるよう努めました。 ・今年度は、コロナ感染予防対策のため利用者数の減少がみられました。	・営業日（12月29日～翌年1月３日を除く月～金） ・緊急相談は24時間対応 （利用件数） 要介護１・２　2,255件 要介護３～５　1,089件 合計　3,344件 （職員数） ９名（事務職員含む） （前年度利用件数） 要介護１・２　2,323件 要介護３～５　1,119件 合計　3,442件